町並み・景観



髙橋功人（たかはしいさお）議員が町に問う！

町の魅力となる可能性は

答弁 **魅力を発信する活動を継続します**

Q 10年後・20年後の町並みの景観は、町の顔として大きな魅力の一つとなる可能性があるが。

A **都市政策課長**　「小川町らしさ」を実感してもらう重要な要素であり、今後も歴史的な町並みの魅力を発信する「景観まち歩き」などの活動を継続していきます。

Q 和紙体験学習センターなど残すべき建物についての検討は。

A **にぎわい創出課長**　令和元年策定の「和紙の有効活用による町の活性化計画」では、和紙産業施設としての整備・活用を基軸として文化的価値を考慮し再整備を検討する方向性を示しています。令和8年策定の「小川町第6次総合振興計画」では、手漉き和紙技術者の育成をするとともに、和紙製造技術の継承と普及による和紙産業の発展を目指し、再整備を推進するとしています。

Q 具体的なスケジュールは。

A **にぎわい創出課長**　まず、再整備基本計画の策定を始めていきます。雨漏りなど建物の老朽化が深刻な状況ですので、早期に実現できるように努めていきます。

●その他の質問

・国旗・町旗の扱いは



整備が待たれる和紙体験学習センター

高齢者支援



山口勝士（やまぐちかつし）議員が町に問う！

公会堂のトイレ洋式化を

答弁 **各施設整備の状況把握に努めます**

Q 高齢者の身近な活動場所である公会堂等の「トイレ洋式化」を。また、段差の解消などに支援は。

A **防災地域支援課長**　高齢者が集う公会堂等の環境整備は、喫緊の課題です。現在、町では各行政区の要望を踏まえ「コミュニティ施設等整備事業補助金」や「自治総合センターコミュニティ助成金」を交付し、施設改修を支援しています。今後、公会堂等の施設整備の状況把握に努め、誰もが気軽に「出かけ」「集い」「活動できる」環境づくりを推進し、高齢者が主役として輝ける元気な町づくりに取り組みます。

Q 公会堂等のトイレに、尿漏れパッド・紙パンツの無料配備を。

A **防災地域支援課長**　高齢者が外出する際の尿漏れ等に対する不安の軽減は、地域活動への参加や、閉じ籠りの防止につながるものと捉えています。一方で、衛生管理や保管場所、種類やサイズの選定、使用済み用品の処理、費用負担などに様々な課題があります。他自治体の取組状況の把握や、関係機関の意見を確認し、高齢者が安心して地域活動に参加できる施策の展開に努めていきます。



多くの皆さんの利用で交流が進む地域の公会堂



たわわに実った柿の橙色とみかんの黄色、久々に晴れた空の鰯雲（いわしぐも）。
里山の秋の色でした。（M・Kさん　76歳）



保育園児が保母さんとお散歩。
ドングリを拾って喜ぶ姿、微笑ましいですね。（Y・Yさん　70代）

害虫対策



笠原規弘（かさはらのりひろ）議員が町に問う！

Q 桜や梅などの美しい花をクビアカツヤカミキリから守り、時には植え替え、全力で町民の思い出の地を守るべきではないか。

A **町長**　日本の原風景の桜や梅などはなくてはならないものです。実態把握と害虫対策に取り組み、学校や公園などの公共施設はできる限り桜などの植樹に努めます。私有地については所有者等のご理解を得て原風景を残していきます。

駅北口と駅北側整備事業

Q 関係者は当町の意思表示を待っている状態と捉えていいのか。

A **都市政策課長**　小川高校・埼玉県教育局・各鉄道会社は「事業化に向けた町の明確な意思表示と具体的な事業計画があった際には協力する」と考えを示しています。

桜や梅の木の植え替えを

答弁 **できる限り植樹に努めます**

Q 3年前の定例会にて、駅北口の周辺整備に関し「諦めることなく考えていく」と答弁されたが、この考えに変わりはないか。

A **町長**　考えに変わりはありません。今後も諦めることなく継続的に取り組み、好機をうかがっていきます。

●その他の質問

・労働力が不足する社会へ向けて



桜には思い出のシーンがいっぱい

文化の継承



鈴木秀尚（すずきひでなお）議員が町に問う！

伝統文化の継続に支援は

答弁 **継続させていく方策を検討します**

Q ぴっかり千両や七夕踊りの歌詞には、当町の特色や誇りがある。継承についての考えは。

A **学校教育課長**　当町独自の貴重な文化なので、次の世代に受け継いでいくことが大切です。学校教育の中でもより効果的な学びになるよう研究します。また、盆踊りについては、地域行事の中で参加しやすい機会を提供し、文化を継承していくことが大切です。

Q 七夕まつりの飾りが減ってしまったが、充実に向け今から対策を練る必要があるのでは。

A **にぎわい創出課長**　飾りは減少していますが、新たに飾りつけに取り組む学校や店舗もあります。様々課題はありますが、和紙を活用した伝統ある祭りを絶やさないよう、商工会と連携しながら、多くの皆さんの協力により、課題解決に努めていきます。

Q 下里の獅子舞は、コロナ後、縮小しつつも復活したが、継続の危機にある。町としての支援は。

A **生涯学習課長**　毎年補助金を交付し、県の助成金で獅子舞の装束を新調しました。今後も保存会と連携して継続・発展させていく方策を検討します。



伝統あるささら獅子舞にも少子高齢化が



味覚の秋を見つけても、今年は高値で手が届きません。大好きな果物が恋しいです。（S・Yさん　53歳）



澄み渡る秋晴れの下、実りの稲刈りを手伝った。昔を思い出し、握る鎌の手に力が入る。（U・Mさん　77歳）

次ページは「一般質問」「16人の一歩」

小川町議会だよりは キャプション（写真説明）にコダワル！ 単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。